【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2009-509975(P2009-509975A)
【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-010
【出願番号】特願2008-532501(P2008-532501)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/437　　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 471/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/36　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/34　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/32　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/30　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/437
Ｃ０７Ｄ 471/04　　１０６Ａ
Ａ６１Ｐ　25/36
Ａ６１Ｐ　25/34
Ａ６１Ｐ　25/32
Ａ６１Ｐ　25/30
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｋ　45/00

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月24日(2009.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
イブジラストを含む、対象の側坐核のドーパミン放出を抑制するための組成物。
【請求項２】
前記対象が嗜癖を有する、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
イブジラストを含む、嗜癖を治療する必要のある対象の嗜癖を治療するための組成物。
【請求項４】
前記嗜癖が薬物嗜癖である、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項５】
前記薬物嗜癖が、オピエート嗜癖、コカイン嗜癖、アンフェタミン嗜癖、メタンフェタミン嗜癖、カンナビノイド嗜癖、アルコール嗜癖、およびニコチン嗜癖からなる群から選択される、請求項４に記載の組成物。
【請求項６】
前記薬物嗜癖が、モルヒネ、メタドン、およびフェンタニルからなる群から選択される１種またはそれより多くのオピエートへのオピエート嗜癖である、請求項５に記載の組成

物。
【請求項７】
前記嗜癖が行動嗜癖である、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項８】
前記行動嗜癖が、摂食嗜癖、飲酒嗜癖、喫煙嗜癖、買い物嗜癖、ギャンブル嗜癖、セックス嗜癖、およびコンピュータ使用嗜癖からなる群から選択される、請求項７に記載の組成物。
【請求項９】
イブジラストが、前記対象の嗜癖関連行動を減少させ、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１０】
イブジラストが、前記対象における１種またはそれより多くの薬物への嗜癖と関連する欲求を減少させ、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１１】
イブジラストが、前記対象における１種またはそれより多くの薬物への耐性を減少させ、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１２】
イブジラストが、前記対象における薬物または嗜癖的行動と関連する刺激の誘因突出を減少させ、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１３】
イブジラストが、前記対象における離脱症候群の症状を減少させ、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１４】
イブジラストが、前記対象における体重減少を緩和し、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１５】
イブジラストが、前記対象におけるグリア細胞活性化を減少させ、または解消する、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１６】
イブジラストが、前記対象における星状細胞またはミクログリア活性化を減少させ、または解消する、請求項１５に記載の組成物。
【請求項１７】
イブジラストが、前記対象の脳内のＣＤ１１ｂを減少させる、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項１８】
イブジラストが、前記対象の脳の中脳水道周囲灰白質または三叉神経核領域のＣＤ１１ｂを減少させる、請求項１７に記載の組成物。
【請求項１９】
イブジラストが、前記対象におけるインターロイキン－１発現の薬物誘発性増加を減少させまたは解消する、請求項１７に記載の組成物。
【請求項２０】
前記対象がヒトである、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項２１】
前記イブジラストが全身的に投与されることを特徴とする、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項２２】
前記イブジラストが、静脈内、皮下、経口、鼻腔内、または舌下に投与されることを特徴とする、請求項２１に記載の組成物。
【請求項２３】
前記イブジラストが中枢に投与されることを特徴とする、請求項２または３に記載の組

成物。
【請求項２４】
前記イブジラストがくも膜下腔内に投与されることを特徴とする、請求項２３に記載の組成物。
【請求項２５】
イブジラストの複数回の治療有効用量が前記対象に投与されることを特徴とする、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項２６】
イブジラストが毎日の投与計画に従って投与されることを特徴とする、請求項２５に記載の組成物。
【請求項２７】
イブジラストが１日２回投与されることを特徴とする、請求項２６に記載の組成物。
【請求項２８】
イブジラストが間欠的に投与されることを特徴とする、請求項２５に記載の組成物。
【請求項２９】
嗜癖を治療するための、イブジラスト以外の１種またはそれより多くの薬剤をさらに投与することを特徴とする、請求項２または３に記載の組成物。
【請求項３０】
１種またはそれより多くの薬剤が、鎮痛剤、ＮＳＡＩＤ、制吐剤、止瀉薬、α－２－アンタゴニスト、ベンゾジアゼピン、抗痙攣剤、抗うつ剤、および不眠治療剤からなる群から選択される、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３１】
１種またはそれより多くの薬剤が、ブプレノルフィン、ナロキソン、メタドン、酢酸レボメタジル、Ｌ－αアセチルメタドール（ＬＡＡＭ）、ヒドロキシジン、ジフェノキシレート、アトロピン、クロルジアゼポキシド、カルバマゼピン、ミアンセリン、ベンゾジアゼピン、フェノジアジン、ジスルフィラム、アカンプロサート、トピラメート、オンダンセトロン、セルトラリン、ブプロピオン、アマンタジン、アミロリド、イスラジピン、チアギャビン、バクロフェン、プロプラノロール、デシプラミン、カルバマゼピン、バルプロ酸、ラモトリギン、ドキセピン、フルオキセチン、イミプラミン、モクロベミド、ノルトリプチリン、パロキセチン、セルトラリン、トリプトファン、ベンラファキシン、トラゾドン、クエチアピン、ゾルピデム、ゾピクロン、ザレプロン、ガバペンチン、ナルトレキソン、パラセタモール、メトクロプラミド、ロペラミド、クロニジン、ロフェキシジン、およびジアゼパムからなる群から選択される、請求項３０に記載の組成物。
【請求項３２】
１回またはそれより多くの用量のイブジラストを含む、哺乳動物対象においてオピオイド離脱症候群を治療するための組成物。
【請求項３３】
前記対象がヒトである、請求項３２に記載の組成物。
【請求項３４】
前記オピオイド離脱症候群が、前記対象におけるオピオイド投与の減少または中止によってもたらされる、請求項３２に記載の組成物。
【請求項３５】
前記オピオイドが、モルヒネ、メタドン、およびフェンタニルからなる群から選択される、請求項３４に記載の組成物。
【請求項３６】
前記オピオイドがモルヒネである、請求項３５に記載の組成物。
【請求項３７】
前記オピオイドがフェンタニルである、請求項３５に記載の組成物。
【請求項３８】
前記オピオイド離脱症候群が、オピオイドアンタゴニストの投与によってもたらされる

、請求項３２に記載の組成物。
【請求項３９】
前記オピオイドアンタゴニストが、ナロキソンまたはナルトレキソンである、請求項３８に記載の組成物。
【請求項４０】
前記イブジラストが全身的に投与されることを特徴とする、請求項３２に記載の組成物。
【請求項４１】
前記イブジラストが、静脈内、皮下、経口、鼻腔内、または舌下に投与されることを特徴とする、請求項４０に記載の組成物。
【請求項４２】
前記イブジラストが中枢に投与されることを特徴とする、請求項３２に記載の組成物。
【請求項４３】
前記イブジラストがくも膜下腔内に投与されることを特徴とする、請求項４２に記載の組成物。
【請求項４４】
イブジラストの複数回の治療有効用量が前記対象に投与されることを特徴とする、請求項３２に記載の組成物。
【請求項４５】
イブジラストが毎日の投与計画に従って投与されることを特徴とする、請求項４４に記載の組成物。
【請求項４６】
イブジラストが１日２回投与されることを特徴とする、請求項４５に記載の組成物。
【請求項４７】
イブジラストが間欠的に投与されることを特徴とする、請求項４４に記載の組成物。
【請求項４８】
オピオイド離脱の治療のための、イブジラスト以外の１種またはそれより多くの薬剤をさらに投与することを特徴とする、請求項３２に記載の組成物。
【請求項４９】
１種またはそれより多くの薬剤が、鎮痛剤、ＮＳＡＩＤ、制吐剤、止瀉薬、α－２－アンタゴニスト、およびベンゾジアゼピンからなる群から選択される、請求項４８に記載の組成物。
【請求項５０】
１種またはそれより多くの薬剤が、ナルトレキソン、パラセタモール、メトクロプラミド、ロペラミド、クロニジン、ロフェキシジン、およびジアゼパムからなる群から選択される、請求項４９に記載の組成物。
【請求項５１】
イブジラストが、前記対象における体重減少を緩和し、または解消する、請求項３２に記載の組成物。
【請求項５２】
イブジラストが、前記対象におけるグリア細胞活性化を減少させ、または解消する、請求項３２に記載の組成物。
【請求項５３】
イブジラストが、前記対象における星状細胞またはミクログリア活性化を減少させ、または解消する、請求項５２に記載の組成物。
【請求項５４】
イブジラストが、前記対象の脳内のＣＤ１１ｂを減少させる、請求項３２に記載の組成物。
【請求項５５】
イブジラストが、前記対象の脳の中脳水道周囲灰白質または三叉神経核領域内のＣＤ１

１ｂを減少させる、請求項５４に記載の組成物。
【請求項５６】
イブジラストが、前記対象におけるインターロイキン－１発現の薬物誘発性増加を減少させ、または解消する、請求項３２に記載の組成物。
【請求項５７】
対象の側坐核のドーパミン放出を抑制するための医薬の製造におけるイブジラストの使用。
【請求項５８】
嗜癖を治療するための医薬の製造におけるイブジラストの使用。
【請求項５９】
オピオイド離脱症候群を治療するための医薬の製造におけるイブジラストの使用。